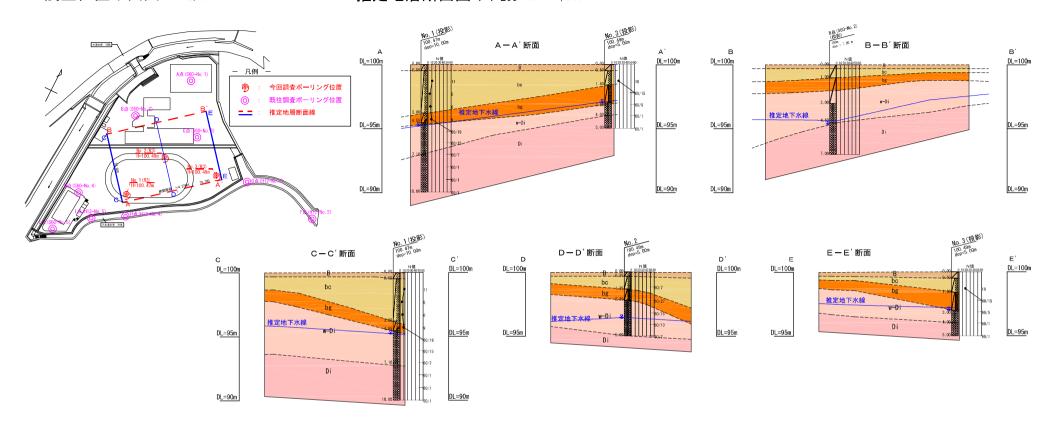


調査位置平面図 S=1:2,000

推定地層断面図 V=1:200 H=1:1,000



地層層序及び設計用地盤定数の提案値

	時 代		地 層 名	土 質 名	地層記号	N 値 範 囲 平 均	記事	設計N値	単位体積 重 量 γt(kN/m ³)	せん断抵抗角 φ (度)	粘着力 C(kN/㎡)	変形係数 E(kN/㎡)
			盛土層	砂	В		グラウンド造成時の盛土。	_	19	25	0	_
新	第四	現		礫混じり砂質粘土	bc	5~18	弾混じり砂質粘土状を呈する崖錐堆積物を造成時に 埋めたものと推察される。	10	18	0	62	7, 000
	紀	世	埋土層			10.0	生めたものと在来される。					
生			2 工 //	礫混じり砂、砂礫	bg	9~21	礫混じり砂〜砂礫状を呈する。	15	19	32	0	10, 500
				M122 0 7 15 1 15 1 11		15.0	φ200~300mm程度の玉石を確認する。				_	
			風化閃緑岩	_	w–Di	95~300以上	以上 コアは岩片〜短柱状で採取される。	183	27	40	83	96, 700
代	新第	鮮	120 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		" "	183.9	全体に亀裂が多く確認され、酸化し、褐色化する。	100		1	33	33, 700
	新第三紀	新世	閃 緑 岩	_	Di	300以上	コアは短柱状で採取される。 比較的新鮮な状態で、ハンマーの強い打撃で割れる。	300	28	41	98	136, 000
					DI	300.0	亀製沿いに酸化し、褐色化する。	300	20	71	36	100,000

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験) (仮称)中部学校給食センター土質調査業務委託

事業名 または 工事名

	調査目的及び調査対象	建 本本		建築 構造物基礎							
ポーリング名 No. 1	No. 1		調查位置	調査位置 長崎県長崎市川平町108番地内	F町108番	做 内				# #	北 韓 32° 48′ 21.71″
数	長崎市 建築部 建築課				麵	EXE 203	調査期間 2021年 6月 28日 ~ 2021年 6月 29日	1年 6月 29		東	東 経 129° 53′ 36.28″
調査業者名	株式会社 PAL構造		主任技師	山下 八州彦 ^{地寶爾} 華 第19443号		理 人 ^{機関}	現 場 杭田 貴裕 コ 代理人 製養 第18504号 鑑定	7	貴裕 第18504号	ボーリ	コア 加田 貴裕 ボーリング 森田 雅俊 電車者 Mgg霧線 第18504号 黄 任 者 Mgg霧線 第2873号
光口補配	H= 180° F= 100.47m	#	#k 0°		使用	DO #	試 維機 D0-D(東邦製)				
黎削孔長	10.00m E 0°	.0c 4	西 東	五	機能して、エ	NE VE	エンジン NFD-9(ヤンマー製)		ポンプ BG-3C(東邦製)	BG-3C (東邦製)

壸	¥	1	町	ш						Ø %		.,					965	,
室原	拉	鮰	紅紅	驗														
※取	鰈	母	书	洪														
試料採取	深	<u></u>	~~	ф (i)														
他在	自法	世 色																
	20	1 e	₩ <	(#							190	150	7.0	01		10	10	
	左鄰		~ 8 の質・			300	300	900	900		g/ <u>a</u>	120	9/2	8		2/0	8/ 2	
鑾	100mmごと の打撃回数	100 200				φ.	-	61	£.		9/8	25						
		0	~ 0			-	ю.	61			R	8	8/2	8/2		3/2	8/º	
摇	N 然	1	<u> </u>	(m)		11.48	5 2,45	3,45	9 4.15	12	5.3	6.20	257 7.00	8	8000	800	800	
$ \prec $,			109							Ť	1	Ť		Î	Ť	Ť	
缸				20						+								
無	<u> </u>	NIII.		40						+								
膨	7. 4			30						/								
	1	秋		20					\perp									
	8	Ź		10		م												
							•	-	T*									
₹4	< 水	d ∕ ∄	似定日	ζШ		1	1	'	5.£	DI		1						
밅				華	グラウンド造成時の廃土。 グラウンド造成時の廃土				機混じり砂状を呈する。 φ60mm程度の毎円機を確認する。		コアは岩片~短柱状で採取される。 る。 全体に風化を受け、ハンマーの軽	打で粗殺治いに割れる。 全体に亀裂が多く確認され、酸化し褐色化する。			コアは毎在状で採取される。 比較的新鮮な状態で、ハンマーの強い打撃で割れる。 近、手をつかった。 び、7、7、1~9.1 n間は亀裂が多く確認	0 4 7 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
型	質	世	¥	夲			現世						秦	张 川 梨	,,,,,			
型型	茶		軽	単	23		rc3		ço		-	+			п			
白相	茶		- <u>F</u>	調度	灰褐 rd2 ~灰		智 蜒		是 是 是 是		100 miles				反 軟Ⅱ			
<u> </u>	(d 10 -)	O 1 1	41 12 v		展 ₹		□ *		田 茶		輕~	istr (±2)						
村貞	有本本	0 H	ず年く	ス装	_				斑				ı					
湄	弾	#	質	夲	盛土、砂	型 土 、	崖錐堆積	<u> </u>	埋土、礫混 じり砂		風化图	☑ 號 职			医磷岩	I		
黑!	第十	質名	(模	級)	annua.	4454444444444		4		*****	****** * * * * * *	*******	× * × × × × × × × × × × × × × × × × × ×		*^******* *********		**** ****	
戕		赵		(II)	0.50			8	7.55				7, 10		* * * * * *	_	00.00	
膨				(E)	99.97			96 67	96, 92				93, 37				90. 47	
膨		K		(E)			N 1	n Herenter		2		9	<u> </u>		о Г	6	10	
					ш				шшш				шш			шш		

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

(仮称)中部学校給食センター土質調査業務委託

事業名 または 工事名

建築 構造物基礎 調査目的及び調査対象

ボーリング名 №.	No. 2		調査位置	開査位置 長崎県長崎市川	平町10	平町108番地内				北	4 32° 48′ 22.76″
製料	長崎市 建築部 建築課	誰				調奎期間	調査期間 2021年 6月 29日 ~ 2021年 7月	~ 2021 年 7	1∄	東	東 経 129° 53′ 36.27″
調査業者名	株式会社 PAL構造 電 話 095-862-0601		主任技師	山下 八州彦 ^{地寶調} 養養 第19443号	3号	現 中 田 十	苑田 貴裕 ^{總額編} 書書 第18504号	□ 7 売 鑑定者 ^{地質調}		术责 	ボーリング 森田 雅俊 貴 任 者 ^{地質調整} は 第22873号
孔口標高	H= 100.49m	ک_	11 0°		°. ₩Œ	試錐機	試 维機 D0-D(東邦製)				
黎 쁸 孔 長	5.00m		西 東	₽₽	° ##	エンジン	(隣ームハ4)6-UHN		ポンプ BG-3C(東邦製)	BG-3C ()	東邦製)

\equiv	₩				.,,,,,,						s ∞	
壸	N-		ш.								-/~	
室原	大 有 #	1 私	瀬 瀬									
(取	採 4		ク 法									
試料採取	試 菜	: #	色 中									
塞	黙	菮	(m)									
	自沈時		貝人量									
		6 買			2			270	20 20	130	2	
	対撃ど	02 ~	買入量		9/2		08	10	2/8	30	8/E	
/II/	100mmごと の打撃回数	001	200					18	∞ 2S	3/8		
鏺	001 1004 1004 1004 1004 1004 1004 1004	0 ~	100		8/2		00		34	£ =1	8/8	
摇	羰	英	Ē			3	2 10	13 34	3.30	4 05	8 8	5
\prec	N		諥		257			<u>د</u>	120	138	257	
,			- 09		Ť			Î	Î	Ī	Ť	
氫			50									
無	垣		40									
膨	— <i>N</i> 植図		30									
44	 #x											
	深度		20									
			10									
			0									
₹ 1	2水位/	√悪√	圧月日						3,57	1		
듀			嶃	グラウンド造成時の盛土。	機混じり砂質料土状を呈する。 造成時に埋めたものと推察され る。	♦10~40mm程度の亜角~亜円礫からなる砂礫状を呈する。 ◆380mm程度の転石を確認する。			コアは岩片~短柱状で採取されると・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 古年 1 古年 1 古年 1 日本 1 日本		
型	質 吐		代 名		現世	1			推制	6川36		
平	校	無	臣		rc3							
型型	衣	挺	度	rd2		rd4				製		
倒			噩	灭福 ~灰	乳 灰~ 灰	R				極		
老章	海女科の	川沙:	的分類									
				食	崖鎌							
温	% 十	- £	負 名	盛土、	埋土、一堆積物	母、 下暦	攤		風化	因樣岩		
黑	場土質	裕 (模 様)	The state of the s	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	0.0.0.0.0.	0.0	* * * * * * * *	*****	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	****	
黙	1	×	(II)	0,35	!	2	2, 20				9,00	
颠	10	Ē		100, 14	:	98.14	98, 29				95. 19	
膨	П		(III)				4) 		ىلىيى <u>.</u>	

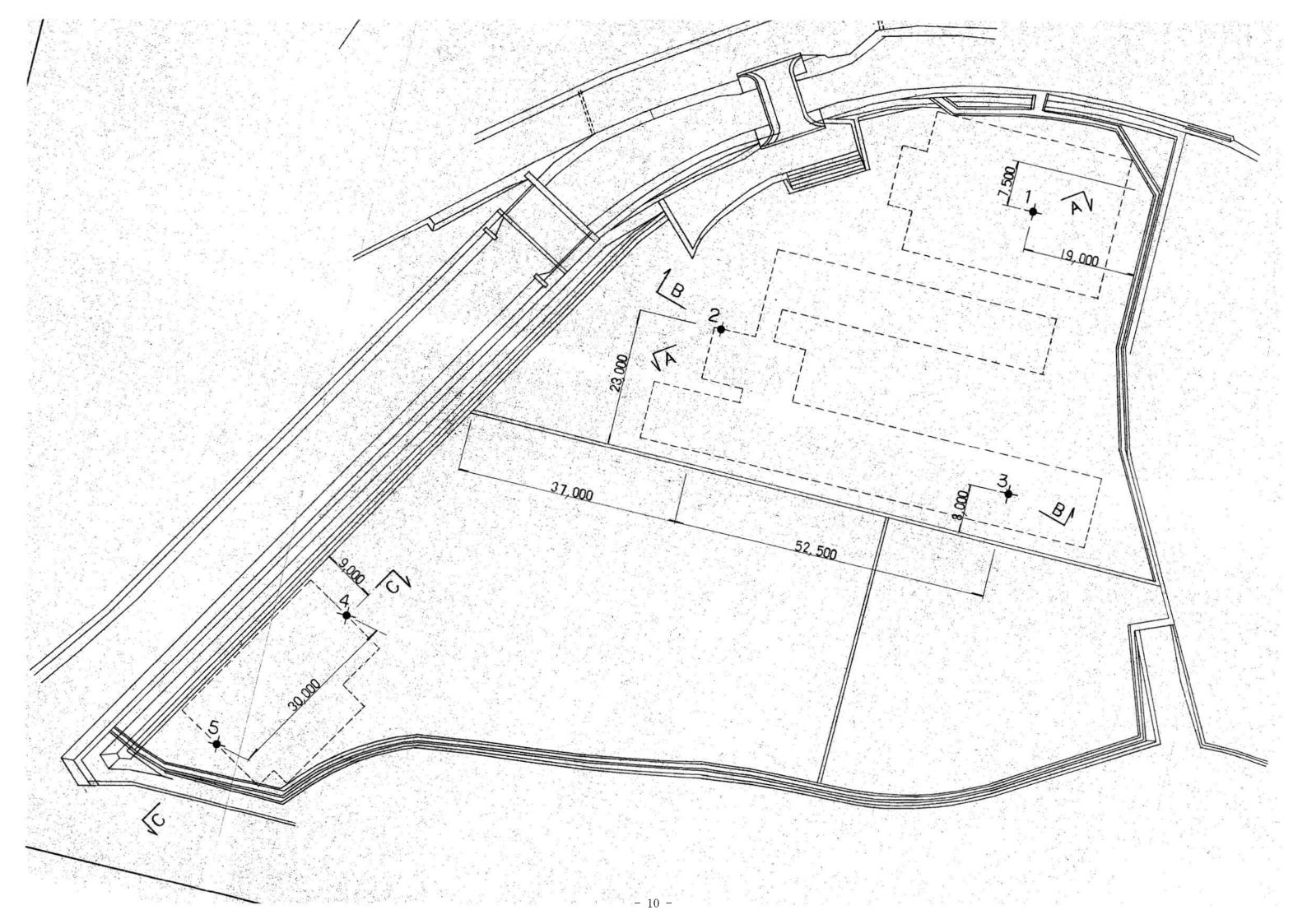
土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名 No. 3	No. 3			調查位置	長崎	調査位置 長崎県長崎市川平町108番地内	町108番	地内						岩	32° 4	1. # 32° 48′ 23.07″
製料は	長崎市 建築部	建築課					靐	三年	調査期間 2021年 7月 1日 ~ 2021年 7月] 1H >	~ 2021年	7月 2	2 ⊞	東衛	129° 5	東 和 129° 53′ 37.97″
調査業者名	株式会社 BAL構造 1 話 095-862-060	造)601		主任技師	日本語	山下 八州彦 ^{整質調査} 第19443号	熙代	開	 加田 貴裕 ★ 第28504号 		第二元	苑田 員 地質調査技士 会 登録番号: 《	二 7	ボーリング	グ者	森田 雅俊 ^{地質調} 書替 第228
孔口標高	H= 100.49m	180°	₩.	100 A	報	水本(1)	東田	無	試 维 機 D0-D(東邦製)	質)						
黎 型 孔 辰	5.00m		# #	180° 南	化原	· 000000000000000000000000000000000000		グラン	エンジン NFD-9(ヤンマー製)	(ポンプ BG-3C(東邦製)	BG-3C (東邦製)	

三	7 1	Щ П			4-		40	,
室原	内 当	紅 盤						
(取	採 取	方法	Ī					
試料採取	紅 菜	梅 中						
福	账 曲		_					
	20 回 の 部 が 事 の	黄入量	+		120	10 20	01	
		の貰入品		300 300		3/8 8/2	a/a	
	78 800	~ 300		0	5/	51		
礟	100mmごと の打撃回数 0 100 200	~ 0 200		ıc.	8/8	_ls _ls	10	
紅	路 用	~ <u>8</u>		9 9	2.30	1 2 2 0 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	5.00 5.00 5.00 1.01 1.01 1.01 1.01 1.01	10 '9'
	N N	· · · · · · · · ·		<u> </u>	120		8800	
\prec		Ì			/ f	§ 1	į į	
氫		Ü						
粠	区里	Ş						
漸	\[\big\]	S	8	-				
	深度一 //値図	S	3					
	洨			6				
		ç						
₹ 1	2水位/河	烟定月日	:		2.25	<u> </u>		
品		'a	ゲラウンド造成時の盛土。	機造じり砂質粘土状を呈する僅維 種類物を造成時に埋めたものと推 察される。	♦10~50m配程度の亜角~亜円線からなる砂線状を呈する。 ◆200m配程度の玉石を確認する。	コアは岩井状の採取される。 全体に風化を受け、ペンマーの軽 中が自動を扱いに開かる。 全体に最初かる。 全体に最初かる。 一部では一部である。 「部でに極化する。	コアは短柱状で採取される。 比較的育庫な状態で、ハンマーの 動い打撃で割れる。 角裂浴いに酸化し褐色化する。	
型	質 時	代名	_	財 :		推纸		
平								
ш	茶	楣 座	<u> </u>	rc3				
平		密 唐	₹ 7 ² 1	rc3	rd5	I A	軟Ⅱ	
和			₹ 22 m	反施	展 本 を を を を を を を を を を を を を	%~ 乳 ⊠ 敷	灰 軟11	
倒		編 約 再	X X X X X X X X X X					
倒	衣 ·	編 約 再	次 	堪士、崖簾 堆積物 褐	埋土、砂礫风傷~ 仄	風化因緣岩褐~乳区	医磷部	
現格	海友学の王:	質 名字的分類	次 	士、 監	厌 饱~ 厌	風化因緣岩褐~乳区	展	
現格	場 士 端本学の王	質 名字的分類	本	推出、	埋土、砂礫风傷~ 仄	國 化 四 錄 告	X	
現期相の	場 士 質 名場 土 場 土 無効性を (工)を 対 対	(模様) 質 名字的分類 字的分類	(1)	提工、推雜 在機動 施	8.80 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	6.6	26.60 6.50 K X X X X X X X X X X X X X X X X X X	
深期期始の調	度 場 土質 名場 土 場 土	(概錄) (類錄) (表錄)	A	提工、推雜 在機動 施	8.80 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	國 分 区 藻 拉 态~ 坐 及	69	7



土質柱状図

	Sec.	-		現場	観 察 記	蝉		1 4	標	. #		贯	入 .	試	験		Î	料扫	民 耵
標高い	深るか	層厚的	土質記号	土質名	色調	記事	深さり	打撃 回数 貫入量 cm	10cm 打算 10 cm		30	0 10	N 20		值 40	50 (試料番号 10 号	深さり	お取り方
		8 to 1	\bigvee		茶 褐 }	0.00~0.90m 埋土 礫混り土 0.90~2.60m 旧表土 所々転石	2.00	50/19				0					1-1	1.15 1.45 2.00	
-2.60	2.60	2.60		●混り土	暗灰	₹ €.	3.00	50/4		43/9	7				774.	冷	1-2	2.50	+-
	601 25 Ger 14 (165) 14 (165)		> >>		茶褐	亀裂多い。 5~20cm棒状コアで						₹				4			
-6.00	6.00	STOP	> >	変朽安山岩	青灰	採取される。	6.00	50/0			, di					-	1-3	5,50	
																Δ			
									is a		* 2								

土 質 柱 状 図 調査名・調査地点 川平小学校々含増築工事に伴う敷地地質調査 育查年月日 60年 5月 11日~ 60年 5月 13日 ボーリング孔:No. 岩水利男 孔内水位 -4.60調查担当者 察 绿 試 試料採取 記 標 標 土質記 試料番号 採 1000ことの 溧 土質名 溧 色 記 取 回数 打擊回数 N 5 尺 貫入量 10 20 30 方 法 . 10 20 cm cm cm O 30 40 50 0.00~1.00m 埋 土 1.00 灰 **♦**(**♦**)|2-1 |1.50 1.00~3.00m 旧麦土 2.15 2.40 50/25 1 27 22/5 転石多く見られる。 △ (職) ₩混り土 -3.00 3.00 3.00 3.15 2-2 3.45 風化屬 全体的によく締ま (変朽安山岩) 黄 -4.00 4.00 1.00 っている。 4.00 4 14 50/14 37 23/4 亀裂多く 所々5~ 10mm程度の 短柱状 コアで採取される。 5-6.00 6 2-3 6.50 灰 青 -7.00 7.00 STOP 変朽安山岩 7.00 50/0 8 9 -試料採取方法の記号 備考: デニソン型サンプラー シンウォールサンプラー フォイルサンプラー 貫入試験用サンプラー その他

不許複製 2-1

杜団法人 土 賀 工 学 会

質 柱 义 状

調査名・調査地点川平小学校々含増築工事に伴う敷地地質調査 調査年月日 60年 5月 8日~ 60年 5月 9日 -2.80孔内水位 岩水 ボーリング孔:No. 調查担当者 試 験 試料採取 現 録 場 察 記 標 差 貫 Y 観 標 土質記号 猱 標 10cmごとの 土質名 記 色 料番 打擊回数 回数 尺 8 厚 10 20 30 貫入量 m te: m cm 0 30 40 50 CID cm 10 20 CM $0.00 \sim 0.70 m$ 0.00 0.70~1.60m旧表土 草木混入、短柱状 0.50 ▲碑. コアで採取される 機を含むマトリッ -1.60 1.60 1.60 礫混り土 50/1 2.00 クスは軟弱である。 2.01 <u>~</u> 2.00 3-2 2.50 短柱状コアで採取 される。亀裂が多い が硬い。 4.00 灰 > -5.00 5.00 STOP 变朽安山岩 5.00 50/1 3 - 3 4.50 × 5.01

備考:

8 -

9 -

試料採取方法の記号

シンウォールサンプラー

貫入試験用サンプラー

デニソン型サンプラー フォイルサンプラー その他

採

取

方

法

不許複製 2-1

社団法人 土質工学会

質 状 义 柱 調査名・調査地点 川平小学校々舎増築工事に伴う敷地地質調査 調査年月日 60年 5月 7日~ 60年 5月 8日 ボーリング孔:No. 孔内水位 -3.50m 調查担当者 岩水利男 試料採取 绿 土質記号 10cmごとの 打撃回数 採 土質名 記 料 取 回数 ē 尺 厚 3 方 10 20 30 貫入量 法 cm cm cm 10 10 50 CM 2.15 2.15 3~7cmの短柱状コア の機を部分的をかかる 全体的に機を多く 含みマトリックス は軟弱である。 4-1 2 45 0 <u>A</u> 4.15 4.15 4.45 7/30 2 4-2 4.45 0 機混り土 5.00 50/3 -5.00 5.00 5.00 風化者しく軟弱 5.03 -5.75 5.75 5.75 である。 所々,軟弱な部分が あり粘土化している 全体的に棒状コアで 採取されるが亀裂 が多い。 7.50 -8.00 8.00 STOP 变朽安山岩 4-3 8.00 8.00 50/7 9 -試料採取方法の記号 檐 考: デニソン型サンプラー シンウォールサンプラー フォイルサンプラー 貫入試験用サンプラー その他

不許複製 2-1

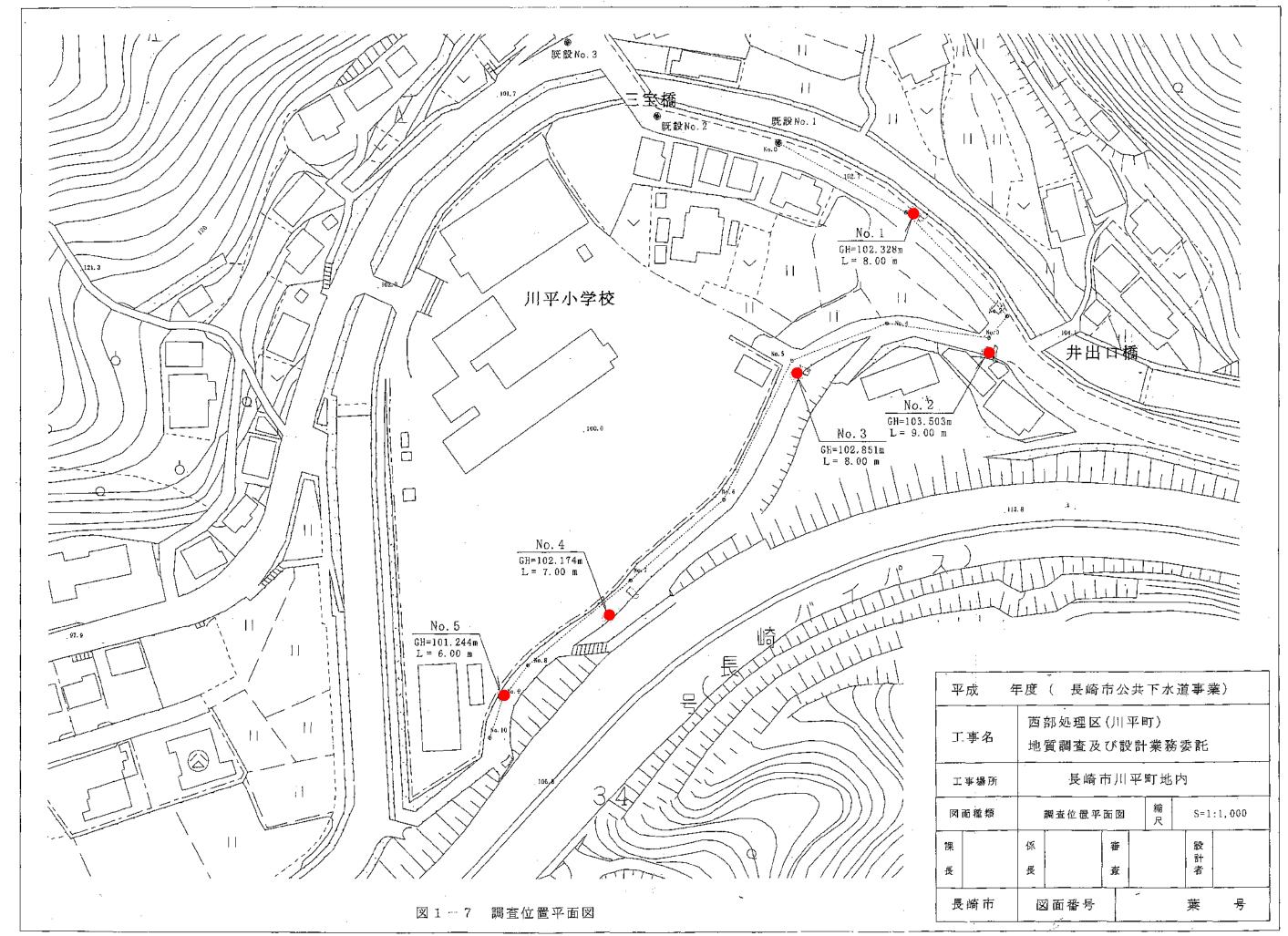
杜団法人 土 賀 工 学 会

質 柱 状 土 X

調査名・調査地点 川平小学校々舎増築工事に伴う敷地地質調査 **調査年月日 60年 5月 6日~ 60年 5月 7日** ボーリング孔:No. 孔内水位 m 調查担当者 水 利 験 試料採取 現 場 察 記 * 標 準 貫 it 觀 深 層 土質記号 10cmごとの 探 土質名 色 記 打擊回数 取 回数 3 3 厚 貫入量 10 20 30 ž ħ 割 10 法 m 20 30 50 cm cm cm 0 10 1~8cmの礫を含む 1~3cmは礫状コアで 5~8cmは短柱状コア 1.15 5-1 1.45 で採取,マトリックスは,軟弱である。 2.15 7/30 3 -2.80 2.80 2.80 ္混り土 灰 裆 3.15 5-1 3.45 50/28 12 18 20/8 所々風化が進行して 5 -おり、それらは粘土 化している。 棒状コアで採取され 6.10 6 るかもろくくずれる 5 3 6.23 風化層 (変朽安山岩) -7.00 7.00 STOP 50/12 | 38 | 12/2 -7.12 8 -試料採取方法の記号 備考: デニソン型サンプラー シンウォールサンプラー フォイルサンプラー 貫入試験用サンプラー その他

不許複製 2-1

杜团法人 土質工学会



調 査 名 西部処理区(川平町)地質調査及び設計業務委託

ボーリングNo.

事業	•	エ	事	名
----	---	---	---	---

シートNo.

ボーリン	グ名	No.1	調査位置	長崎市 川平町 地内 :	北 緯 32 48 13.9 "
発 注 機	. 関	長崎市 下水道部	下水道建設課	調査期間 平成 12年 5月 27日 ~ 12年 5月 29日 3	東 経 129° 53' 47.3″
調査業者	者 名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 電話(092-885-5016	主任技師 手島健治	現 場 古橋裕二 コ ア 戸屋文雄 代理人 古橋裕二 鑑定者 戸屋文雄	ボーリング 重松秋良
孔口標	高	角 180 方 102. 328m	27 190 96 赤小丁 0 . 月1	試 錐 機 DO-DL型	コーンプーリ
総掘進	長	8.00m 度 下 0 向 暨	第 句	エンジン NFD-10型 ポンプ	動力噴霧器

標	標	層	深	柱	土	色	桐	土	記	孔内				:	標準	生	T	信》	武	倹			原	位	置	試 翳	ぱぱ i	4 採	取	塞上	掘
					質		対	質		水位	-		nಪರ0	<u>∓</u>				N		値			深	はは		名 結果	+	活	採	内試験	進
尺	高	厚	度	状	区		密	区		加/測定	度	0	峰回 鄭 10 2	数/實				_	-c- -				度			114 214		料番	取方	^	月
m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	分	事	月日	(m)		20∫3	入 量 (cm)		:	10	_20	3	0	40	<u> 50 60</u>	(m)				(m)		li		В
1	101.13	1.20	1.20		試掘	黒暗~灰褐		試掘	0.0~0.1m間は7277から。 0.1~0.4m間は砕石。 0.4~1.2m間は礫混じり土砂。 4.10~40m/m大の礫を40%程度混 入する。		1.35	2	3 3	8					_								!	! ! ! !			: : :
2	99,98 99,73	1.15 0.25	2.35 2.60		粘性土	褐灰	i	粘性	へりる。 全体に円礫潟じり粘性土にて採取 される。 マトリックスは砂質粘土であり、 々2~30m/m大の円礫を10~20%程 度含有する。	5/29 2.15	1,65 2,15 2,45	3	5 1	30 18 30 60	18	Q.		9					-								
3					風化層 ・閃緑 岩	淡褐			土柱状コア主体で採取される。 礫混じり粘性土状を呈し、岩組織 閉膜である。		3.00 3.00 4.00		入不能	60							 							}			1
5 6						淡灰~淡褐灰		軟岩Ⅱ	短柱~棒状コア主体で採取される。 2.6~6.0m間は亀製に沿って酸化により褐色化し、所々で細片化する。 特に5.0~5.2m間は細片化著しく、粘土分が付着する。 6.0m以深は非常に新鮮な閃緑岩となり、ハンマーの打撃により鈍い 金属音を発す。		4.60									!			6.50	現4.	場透水 70*10	《試験 -4cm/s	6.10 6.20	G-1	•	岩石款數	
8	94.33	5.40	8.00						最大コア長は40cm程度である。									<u>.</u>													2
9														ļ	_		-	_					-					:	: -		

<凡例>

柱状図および土質区分

第1分類

区分		分類	名	図模様
		谼	(G)	0.0.0
	쬁	er.	土(%)	0000
土			(\$)	
賃:	砂	K#	土(SF)	ļ::::
	シ	Jν	⊦ an	
材	粘	性	±ω	
料	有	機質	±00	}
	火山	灰質粘性	土 (0)	\approx
	高有	機質土(四	植土) (Pt	****

第2分類

区分	分類名	図模様
	砂· 質(s)	BEET SEC.
	シルト質(41)	No. of Lot
	粘土質(c)	
補	有機質(0)	Maga.
	火山灰質(い	المحجور ا
助	玉石混り(-B)	200gr
	砂利 .磔混り(-G)	۰۰۰
話	砂 湿 じ り(-s)	
	シルト混り(-m)	100
몽	粘 土 混 り(-c)	
	有機質土湿じり(-0)	Phylop Y'
	火山灰湿り(-い	
	貝 設 混 り(-sh)	9

第3分類

	区分	_	分	類	名		図模様
	岩	岩	Œ		岩(HR	}	
	石		ф	硬	岩(MR)	-	1111
	材	盤	軟岩	5、厚	机化岩 (W	रा	///
	料	E	<u>.</u>		石(8)		್ಳಿಂ
		清	٤ ;	石碑	至石) (Pm	,	444
	特	<i>"</i>	, :	∋ <i>`</i> ``	スはi	,	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A
	殊	א	; ⊐	IJ	ア(Sc		***
	±	火		Li _	灰心)	3 252
	i 材 (} -	-	Adm	,	} }
ı	料	果	. #		ク(Кы)		13CX 13CX
		7	,	- 5	(WG)	1	11111
	表			土	(\$)	1	\times
	埋			±	(F1)	1	X
	廃	菲) (W)		1	X

試料採取方法

- ①シンウォールサンプラーによる ②デニソンサンプラーによる
- ○貫入試験器による
- **⑤**フォイルサンプラーによる
 - () K

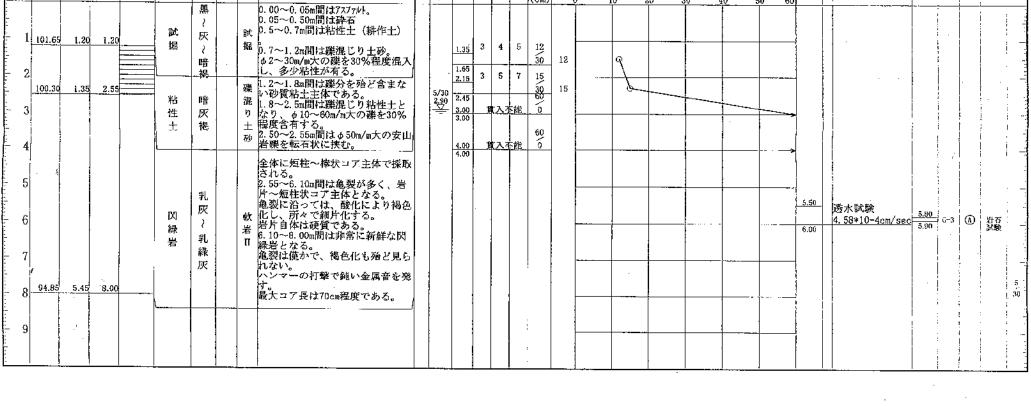
備考

査 名 西部処理区(川平町)地質調査及び設計業務委託 ボーリングNo. 事業・工事名 ボーリング名 No. 2 調査位置 長崎市 川平町 地内 48 緯 32° 12.6 長崎市 下水道部 発注機 関 下水道建設課 平成 12年 5月 29日 ~ 12年 5月 30日 調査期間 経 129° 53' 49.3 パシフィックコンサルタンツ株式会社 現 ボーリング 調査業者名 主任技師 手島健治 古橋裕二 電話 (092-885-5016) 戸屋文雄 重松秋良 代理 _定 責 任 者 角 180 方 孔 口 標 高 兆0. 地 ハンマー 試 錐 機 103.503m D0-DL型 水平 0° 上 盤 用 270 **90**° _90′ <u> 落下用具</u> 鉛厂 勾 機 西 東 総掘進長 $9.00 \, \mathrm{m}$ エンジン NFD-10型 ポンブ 動力噴霧器 孔 標 色 相土 標 層 深 柱 土 記 標準 貫入試験 原位置試験試料採取室掘 内 内 水 深 10cmごとの 試 験 試 採 試 位 対 質 進 および結果 験 値 打擊同数 回 (m)尺 高 厚 度 状 料取一 0 | 10 | 20 度 度 廋 X 密 区 測 月 貨入 番方 定 7 月 (m) | (m) | (m) | (m) | 量 × 分 調 度 分 (m) 10 20 30 (cm) (m) | 号 | 法; ~ (m)F D. 00~0. 05m間はアスファルト。 D. 05~0. 3m付近は枠石。 D. 3~0. 9m間は弾混じり砂質土状を呈し、 620~60m/m大の礫を40 %程度含む。 D. 9~1. 2m間は在来地盤の風化土の埋土で、多少粘性が有る。 株に挟む。 60 弑 1 102.30 1.20 102.10 0.20 灰 掘 貫入 本能 0 7 60 裀 5/30 2.40 暗灰 60 <u>貫入木能</u> . 短柱~棒状コア主体で採取され 1.4~4.0m間は多少亀裂が有り、 短柱状コア主体である。 絶製に沿って、酸化により褐色化 軟 L. Om以深は非常に新鮮な閃緑岩と なる。 棒状コア主体となり、亀裂は極め 乳 Η 緑 透水試験 透水試験 3.81*10-4cm/sec 6.90 G-2 A NA XXX 灰 94.50 7.60 9.00

< 凡例> 柱状図および土質区分 試料採取方法 第1分類 第2分類 第3分類 ①シンウォールサンプラーによる 区分 分類名 図模様 区分 分類 名 **の**デニソンサンプラーによる 図模様 分類 名 図模様 (6) 0.00 ○貫入試験器による 賃(S) 岩(HR) 岩 ⑤フォイルサンプラーによる シルト質(11) ④ ()による (S) 粘 土 質(c) 軟岩、風化岩(WR) ±(SF) :::: 補 有 機 質(0) 石(B) ۲ (m) 火山灰質(い 浮 石(軽石)(Pm) 材料 助 玉 石 渇 り(-B) 土(0) シーラース(81) 有機質土(0) 砂利 . 鉄混り(-G) スコリア(%) 火山灰質粘性土 (0) 記 砂 混 じ り(-s) 火 山 灰(CA) 语有機質土(隔植土) (Pt) XXX シルト湿り(-m) 号 粘 土 混 り(-c) ボ ク(Kb) 有機質土混じり(-0) サ(WG) 火山灰湿り(-い) 士(S) 貝 殻 混 り(-Sh) 生(F1) 廃 葉 物(w)

調 査 名 西部処理区(川平町)地質調査及び設計業務委託

ボーリングNo. 事業・工事名 シートNo. ボーリング名 No. 3 調査位置 長崎市 川平町 地内 北 緯 3 2 ° 48' 12.2 発注 機関 長崎市 下水道部 下水道建設課 調査期間 平成 12年 5月 30日 ~ 12年 5月 30日 経 129 53 47.47 東 パシフィックコンサルタンツ株式会社 ボーリング 調査業者名 主任技師 手島健治 電話 (092-885-5016) 古橋裕二 戸屋文雄 重松秋良 代 理 鑑 定者 責 任 者 180 方 北_0° 地 <u> ハ</u>ンマ-孔口標高 試 錐 機 DO-DL型 コーンプーリ 102.851m 公水平 0° 上 盌 270 (<u>}</u>90^ 用 落下用具 _90° 西 東 勾 機 下 総掘進長 8.00m エンジン NFD-10型 ポンプ 動力噴霧器 配 種 180° 南 標 標 層 深 柱 色相土 土 記 標準 貫 入 試 験 原位置試験試料採取室掘 内 内 水 試 験 深 10cmごとの 名 深試採試 深 質 刘|質 位 験 進 Ν 値 および結果 打擊回數 日 (m) 尺 高 厚 度 状 料取二 度 0 10 20 度 度 密 区 X 測 月 貫 番 方、 定 ? 7 入 月 ᇍ 度分 (m) | (m) (m) ' (m) 义 分 調 $|m|_{10}|_{20}|_{30}|_{cm}$ 事 (m) (m) 号 法 日 0.00~0.05m間は7スファルト。 0.05~0.50m間は砕石 0.5~0.7m間は粘性土(耕作土) 黒 紌 灰 1 101.65 1.20 1.20 煀 掘 0.7~1.2m間は礫混じり土砂。 ゆ2~30m/m大の礫を30%程度混入 し、多少粘性が有る。 5 12 1.35 12 暗 1.65 裾 5 7 3 15 2.15 100.30 15 2,45 粘 暗



< 凡例> 柱状図および土質区分

第1分類

区分		分 類	名	図模様
		蘇	-(G)	0.0.
	74 PK	Ħ	土(GF)	0000
\pm		砂	(S)	
er H	矽	кя Ж	土(SF)	::::
	シ	بار 	F oro	
材	粘	性	土⇔	
料	有	機質	t 土(0)	1111
	火山	灰質粘胶	<u>ŧ</u> ± (υ)	\\
¥. j	高有	機質土瓜	酥疽土) (Pt	***

第2分類

	第2分類	
区分	分 類 名	図模様
	砂· 質(s)	September 1
	シルト質(m)	25.22
	粘 土 質(C)	
捕	有機質(0)	華
	火山灰質の	# P
助	玉石混り(-8)	Cop.
	砂利 .碟 混り(-G)	۰۰.
認	砂 混 じ り(-s)	1
	シルト混り(+n)	
묮	粘 土 混 り(-c)	Ī
	有機質土混じり(-0)	property.
	火山灰混り(-い	1
	貝 設 混 り(-Sh)	e e

第3分類

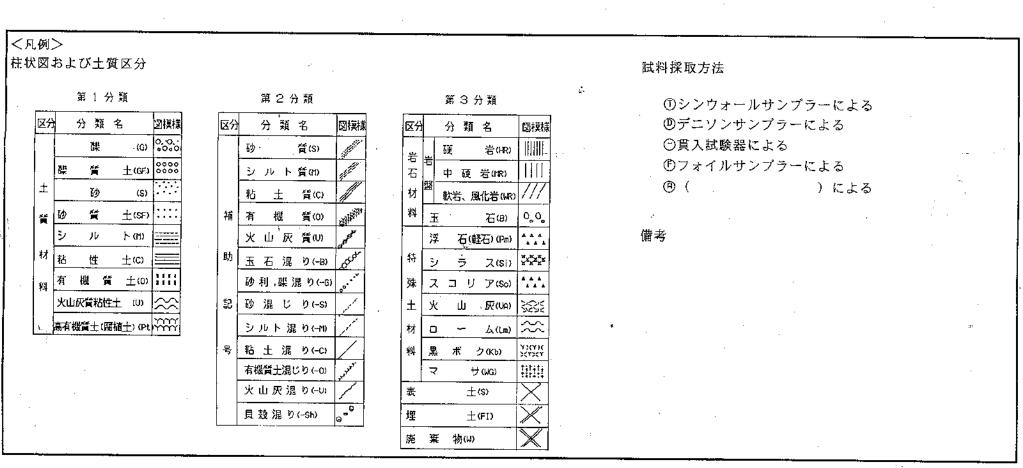
区分		分	類	名	図摸様
岩	岩-	硾		岩(HR)	
石	-	ф	硬	岩(MR)	
材	盤	軟岩	<u> </u>	机化岩(WR	,///
料	Æ			石(B)	೦೦೦
	浮	!	石俥	隆石) (Pip)	444
特	シ		÷	ス(Si)	ŽZŽŽŽ
殊	ス		IJ	ア(%)	
±	火		ய்	灰(UA)	<u></u>
材	_		_	A(Lm)	**
料	黒		ŧ	ク(Kb)	Xixi
	₹	1	ţ	t (WG)	11111
表			±	(\$)	\times
埋			1	(FI)	$ \times $
廃	莱	1	勿(W)		X

試料採取方法

- ①シンウォールサンプラーによる
- ®デニソンサンプラーによる
- ○貫入試験器による
- **の**フォイルサンプラーによる
- (9) () による

備考

西部処理区(川平町)地質調査及び設計業務委託 ボーリングNo. 事業・工事名 ボーリング名 No. 4 調査位置 長崎市 川平町 地内 泏 緯 32 1 48' 10.1 発注 機 関 長崎市 下水道部 下水道建設課 平成 12年 5月 31日 ~ 12年 5月 31日 東 調査期間 経 129° 53' 46.6 パシフィックコンサルタンツ株式会社 ボーリンク \Box 調査業者名 主任技師 手島健治 古橋裕二 戸屋文雄 重松秋良 電話 (092-885-5016) 代 理 鑑 責 任 者 180 方 北 ハンマー 孔口標高 水平 0° 試 錐 機 DO-DL型 コーンプーリ 102. 174m 上 盤 用 _90° 270 90 落下用具 鉛直 ファ 勾 機 西 総掘進長 7.00m エンジン NFD-10型 ポンプ 動力噴霧器 標 標 層 深 柱 色 相 土 記 土 標準 貫 入 試 験 位置 試 験 試料採取 室 掘 内 打 験 深 10cmごとの 名 試 採 試 滐 位 質 対 質 進 および結果 験 打擊回数 (m) 尺 南 厚 度 状 ||料||取||二 度 0 10 20 麼 度 X 密区 測 !月 貫入 番|方 定 ? 月 度 分 (m) 図 分 量 (m) (m) (m) 調 (m) 10 20 30 k (m) 号 法 ~ ; ∄ (m)黒 0.00~0.05m間は7スファルト。 1 100.97 試 100.97 1.20 100.67 0.30 灰 掘 1.65 6 挟む。 2.15 15 2.45 60 φ2~10m/m大の礫を僅かに混入する砂質粘土主体で採取される。 60 褐 粘性土 3.00 15 120 3.15 φ2~100m/m大の安山岩質・閃緑 岩質・玄武岩質の亜角~亜礫を30 ~40%程度含む。 マトリックスは砂質土主体であ 60 褐~乳緑 97.92 暗灰 97.37 透水試験 0.55 全体に短柱~棒状コア主体で採取 される。 軟 4.25~4.80m間は風化により多少 岩 脆弱であり、礫~岩片状コア主体 <u>6.75*10-4cm/sec</u> 1800 5.10 G-4 5.00 (A) 岩石 試験 ā.00 褐 緑 **東**入木能 となる。 岩 酸化により全体に褐色化が進む。 95,17 2.20 7.00 4.8m以深は非常に新鮮な閃緑岩となり、短柱〜棒状コア主体であ 岩 亀裂は僅かであり、最大コア長は 1 35cm程度。 緑 ハンマーの打撃で鈍い金属音を発



査 名 西部処理区(川平町)地質調査及び設計業務委託 ボーリングMu 事業・工事名 ボーリング名 No. 5 調査位置 長崎市 川平町 地内 8.9" 緯 32° 48. 発注 機 関 長崎市 下水道部 調査期間 平成 12年 6月 1日 ~ 12年 6月 1日 東 下水道建設課 経 129 53 44.9 パシフィックコンサルタンツ株式会社 調査業者名 ボーリング 主任技師 手島健治 古橋裕二 電話 (092-885-5016) 戸屋文雄 重松秋良 代 理 責 任 者 角 180° 方 孔口標高 业0° 地 使 ハンマー 試錐機 コーンプーリ 101. 244m D0-DL型 上. 盤勾 鉛水平 0° 270 → 90° 用 90° 落下用具 西 機 総掘進長 6.00mエンジン NFD-10型 ポンプ 動力噴霧器 孔 標 標 層 深 柱 土 色 相 土 記 標準貫入試験 原 位 置 試 験 試料採取 室 掘 内 水 深 10cmごとの 試 験 名 滐 試 採 試 質 対質 位 垫 進 値 N および結果 験 打擊回数 回 (m) 尺 髙 厚 度 状 料取 度 0 10 20 密 区 区 度 度 測 :月 ర 番方 定 月 $(m) \mid (m)$ (m) 区 分 度 (m) 調 分 $|m|_{10}|_{20}|_{30}|_{cm}$ (m) | 号 | 法 | H (m) 礫混0.00~0.05m間は7スファルト。 り±0.05~0.40m間は砕石。 100.84 0.40 0.40 埋 果~ 暗灰 土 2 2 1.15 礫混じり粘性土主体で採取され 30 6 裀 粘 灰 粘 全体に o 2~10m/m大の礫を少量含 む。 マトリックスは砂質粘土主体。 特に、0.6~0.7m間は腐植物を含 む粘土(旧水田)にて採取され 14 性 2.15 性 ₹ 98.74 14 30 灰 2.50 2.45 13 47 槝 60 3,15 18 $^{\odot}$ 100 故度 経験 φ2~50m/m大の安山岩質・閃緑岩 質・玄武岩質の亜角~亜礫を30~ 40%程度含有する。 マトリックスは砂質土主体。 3.33 3.50 60 97,39 透水試験 暗灰 ~褐 1. 27*10-3em/: 4.10 **(** 岩石 試験 短柱~棒状コア主体で採取され 乳 **購入不能** 灰 全体に亀裂に沿って褐色化する が、岩片自体は非常に硬質であ 閃 軟 緑 岩 95.24 2.15 6.00 乳 o。 ハンマーの打撃で鈍い金属音を発 岩 最大コア長は40cm程度である。 灰

<凡例> 柱状図および土質区分

第1分類

区分		分 類	名	羽模槌
		群	(G)	0.0.0
	B#	## #	土(GF)	0000
土		砂	(\$)	
**	Ø	Ĕ	±(SF)	::::
	シ	<i>J</i> b	ト(m)	
材	粘	性	±(c)	
料	有	機量	t ±00	1111
	水山	灰質粘性	±± ω	\approx
4 .	島有	機質土の	(Pt	****

第2分類

	70 L /J /A	
区分	分 類 名	図模様
	砂・ 賃(8)	185 E.A.
	シルト質(11)	5 mm
	粘 土 質(c)	
補	有機質(0)	Wigh.
	火山灰質(い	P B
助	玉石混り(-3)	250gm
	砂利 .္ 湿り(-6)	٠٠٠
显	砂 混 じ り(-s)	1
	シルト混り(-m)	
号	粘 土 混 り(-c)	
	有機質土混じり(-0)	philippin
	火山灰湿り(-い	1
	貝殻混り(-sh)	e e

第3分類

区分		分類	名	図模様
岩岩		硬	 岩(HR)	
石	岩一	中硬	岩(MR)	
材	盤	軟岩、原	&化岩(WR)	///
料	玉	-	石(B)	್ಮಂ
	浮	石傳	隆石) (Pm)	3 4 4
特	シ	, 5	ス(Si)	XXXXX
殊	ス	ט כ	ア(%)	4 4 4
±	火	ய்	灰(VA)	32公
材			Δ(Lm)	\approx
料	黒	ж	ク(Kb)	7)(7)(7)X7X
 	マ	+_	t (MC)	HH
表		±	(3)	\times
埋		±	(FI)	\times
廃	葉	物(W)		\times

試料採取方法

①シンウォールサンプラーによる②デニソンサンプラーによる○貫入試験器による

⑤フォイルサンプラーによる

®() による

備考